

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| <p><b>躍進する<br/>植田地區中小炭礦</b></p> <p>三千六百万噸達成え力強い動き</p> <p>一、下瀧炭礦(戸田周馬氏)し期待せらるゝものである</p> <p>二、植田炭礦三好氏は昨年</p> <p>の幹斜で東京大地書房の秋山慶雄と協約成り二月一日より大地炭礦株式會社とし</p> <p>て發足した。</p> <p>秋山氏は少壯二十八才の實業家で炭礦界の進出は活目</p>   |  | <p>僅かに月産五百噸の出炭を見たるに比し今は月産五百噸に達し前途甚だ洋々たるものがある。</p> <p>三、天ノ川炭礦熊長好氏も</p> <p>株式組織も着々進歩し三月中旬には實現する見込</p> <p>れども</p> <p>十五日以來資本金參百萬圓の</p> <p>株式組織を計畫中だつたが</p> <p>舊暦二十五日實現し披露式によつて露天堀りをなして</p> <p>を舉げた。顧れば小林金重</p> <p>雄六氏は九日午前七時五</p> <p>時に由り原始的の採炭方法</p> <p>を採用し</p> <p>及葉郡浪江町木材商氏家光</p> <p>に於ける</p> <p>列車にはねらる。</p> <p>仙台地方商工局平出張所及び東北福利調査委員會では</p> <p>十五、十六の兩日双葉地區炭礦福利狀況の調査を二班に別れて行う、日程次の如</p> <p>に定められ</p> <p>十五日—上岡、赤城、龍田</p> <p>(以上第一班)</p> <p>・久ノ浜、富久浜、大久</p> <p>七郎を中心とする民主黨は</p> <p>現地的對策と目標の下に</p> <p>總裁を首班に指名してその</p> <p>認識によつて一應の批判の眼</p> <p>を現在の政界に注ぐ必要がある。</p> <p>一般動労大衆は總選挙によつて國民の信を問う</p> <p>ある、一般動労大衆は總選挙によつて國民の信を問う</p> <p>も亡國的色さいの中に遂に總辭職を決するに到つた。</p> <p>勿論連立内閣の弱みとして</p> <p>社會黨が賃總選挙に於て絶對多數を制し得ず内部壞しあるが、今我々が直面してゐる政治的經濟的社會的</p> | <p>に於ける</p> <p>の工作は日々紙上に報導されてゐる様に不明朗な空氣</p> <p>た事は、我國の現状として</p> <p>避け得ぬ段階であり、急進</p> <p>政黨として必然的な歸結で</p> <p>政黨が賃總選挙に於て絶對多數を制し得ず内部壞しあるが、今我々が直面してゐる政治的經濟的社會的</p> |
| <p><b>政變と地方政界の動向</b></p> <p>一般動労大衆の輿望を擔つて登場した社會黨片山内閣も亡國的色さいの中に遂に總辭職を決するに到つた。</p> <p>勿論連立内閣の弱みとして社會黨が賃總選挙に於て絶對多數を制し得ず内部壞しあるが、今我々が直面してゐる政治的經濟的社會的</p>  |  | <p>危機を前にして、速に次期收拾する最良の方法で吉田</p> <p>總裁を首班に指名してその</p> <p>認識によつて一應の批判の眼</p> <p>を現在の政界に注ぐ必要がある。</p> <p>一般動労大衆は總選挙によつて國民の信を問う</p> <p>ある、一般動労大衆は總選挙によつて國民の信を問う</p> <p>も亡國的色さいの中に遂に總辭職を決するに到つた。</p> <p>勿論連立内閣の弱みとして</p> <p>社會黨が賃總選挙に於て絶對多數を制し得ず内部壞しあるが、今我々が直面してゐる政治的經濟的社會的</p>  |   |
| <p><b>週刊</b></p> <p>☆</p> <p>相馬林道開さく</p> <p>性病科</p> <p>矢吹醫院</p> <p>内市鍊田町</p> <p>電話八一八番</p> <p>相馬郡大館村から同村前乘</p> <p>浅倉(第一、第二合同)</p> <p>相馬林道開さく</p> <p>十六日—石川、福松、木戸傳次郎氏等錦町では山崎登</p> <p>浅倉(第一、第二合同)</p> <p>亦津幸之亮、鈴木富藏氏等</p> <p>修一、坂本幾次郎、青天目</p> <p>十六日—石川、福松、木戸傳次郎氏等錦町では山崎登</p> <p>浅倉(第一、第二合同)</p> <p>亦津幸之亮、鈴木富藏氏等</p> |  | <p>に於ける</p> <p>の工作は日々紙上に報導されてゐる様に不明朗な空氣</p> <p>た事は、我國の現状として</p> <p>避け得ぬ段階であり、急進</p> <p>政黨として必然的な歸結で</p> <p>政黨が賃總選挙に於て絶對多數を制し得ず内部壞しあるが、今我々が直面してゐる政治的經濟的社會的</p>  |   |
| <p><b>勿來町では横田定好、赤津</b></p> <p>(以下次号)</p> <p>政治部VH記</p>   |  | <p>勿來町では横田定好、赤津</p> <p>(以下次号)</p> <p>政治部VH記</p>  |   |

號四十七第題改 日五十月二年三十二和昭 スムイダ勞動 可認物便郵種三第(二)

## 盛會を豫想される

コロンビア素人のご自慢

一十九日市公會堂日本間で—

地堂共催で十九日午後一時及び賞品授與を行ひ特に

より平公會堂日本間に於て秀者にはコロンビアの事  
新人歌手募集コロンビア素に推薦し賞品は錄音盤を

八のど自慢コンクール大會すことになつてゐる審査を開くことになつて。中央コロンビア文藝部が當る

より専属歌手と録音班來平 參加申込は天地堂、ガイ

のものに地方より参加出演社に於て受付中である。應募し一部、豫選（晝一時）地方初の催として盛會を

より) 二部、決選(夜六時) そうされてゐる。

戀愛か？見合か？ であつた。  
◎次回は誰に政權を簷戴

結婚與論調査（本社）（三月三日）  
本社では青年男女の結婚にてもらうか。

對する裏剣な叫びを傳える 右の輿論調査を施行致し  
べく去る九日平市街頭に於 すから讀者各位の御協力

でカード記入方法による與願います  
氏名、住所、職業、年

論調査を行つた結果左の如く、極めて多くは、明記のこと。

してゐる事が判明した。

調査ノ員に百名アハ十六名  
の回答者があり、大別して  
タインノ文藝  
讀者の投稿を歓迎致

次の通りである。  
恋愛結婚を希望  
します 講堂タイムズ  
文芸部

男（五名） 女（三名）

女（三名）　年齢別　戀愛結婚を希望　春は人生はさて最も明い平和な時機である。

二十—五才（四名）四名  
二十一—才（三名）三名  
二十二—才（三名）三名  
まる。

三十才以上（三名）二〇名

卷之三

卷之三

慢 間でレコード吹込を行ひ特に優れをもつてゐる。音盤は録音盤を出でてゐる審査は、音部が當る。地堂、ガイド中である。當して盛會をよる。

秋は現實の時機、寒冷な過去を前に夢の様な過去はつた。

◎秋空にオーバー賣つて薯買ひ

冬、遙に來た萬物かれの時、タケノコは盡きます。腹の中におさまつて、冬服をうつたオーバーによろづた。

◎冬枯の窮余の策は穴ごもり

題『山に立つて』ふるさとの道みえる山

なつかしきあの道峠

友は皆わかれくても風寒き山の頂き道はただ黒さとぱりに思ひ出のかげろうもな凍て暗き

冬の野面よ

（擴太）

ス文藝

文藝部

アタイムズ

懇を歓迎致

子（一天作）

職業 年齢

政權を擔當し

を施行致しま

位の御協力を

端はこの時初機である。多

十七日より二十三日迄  
シミキンの  
『拳闘王』  
平東寶  
十七日より二十三日迄  
「幸福への招待」  
監督 千葉泰樹  
大河内傳次郎  
入江たか子  
世界館  
十七日より二十三日迄  
東横作品（原作尾崎紅  
戯曲化武者小路實篤）  
「金色夜叉」前篇  
監督 マキノ正博  
「ダイヤモンドに目がく  
らんだか」涙に雲る一  
十七日の夜半の月、裏  
られた男の心に  
熱海海岸の波騒ぐ……  
主演 上原謙  
轟 夕起子  
古川綠波  
木暮實千代  
大日方傳  
聚樂館  
永らくお待せ致しまし  
十七日より  
『心の旅路』  
「彼の記憶回復を待ち  
空しく悶待つ女のロマ

|                            |  |                            |  |   |  |
|----------------------------|--|----------------------------|--|---|--|
| 月刊                         |  | 業種                         |  | 不巧の傑作<br>（ロナルド、コールマン）                     |  |
| 新技術男女バーマと洋髪<br>どうぞ御利用下さい   |  | 佛具品<br>御位碑<br>佛金具類<br>造花調製 |  | 懶める二人が結ばれるまでの香り高きローマンス<br>いまと開く彼の求めし過去への扉 |  |
| 理髪と美容                      |  | 常磐線平市本町西丁目                 |  | （マリヨ洋裁店）                                  |  |
| 新技術男女バーマと洋髪<br>どうぞ御利用下さい   |  | 電話五五〇番                     |  | 常磐卓球場                                     |  |
| 平局横丁角<br>平市南町五〇直龍軒<br>理髪人部 |  | 電話五五〇番                     |  | 平市世界館前                                    |  |
| 事務用と文房具<br>学用品と紙製品         |  | 常磐卓球場                      |  | 機械完備<br>は物の御用は<br>技術本位の                   |  |
| 平市五百九十九番<br>電話九四七番         |  | 京屋染工場へ                     |  | 平市南町大通り<br>電話六六四番                         |  |